

私の提言

地域づくり促す施策を

草津市長選を前に

徳島県出身で、京都大文学部を卒業後、27歳の時、JR草津駅西口で教材販売会社の草津支店長として住み始めたのが、草津との縁の始まり。当時は空き地ばかりでしたが、だからこそ発展の予感がありました。

1992年に独立して学習支援を手がける「タオ」を創業しましたが、最初は妻と2人きりで栗東市内の自宅を事務所。社員の募集には、より京阪神に近い草津が有利だと、2009年、現在の草津駅東口に移転して今に至ります。

学習ソフト開発販売会社「タオ」社長 井内 良三さん 56



自社の学習ソフト画面を前に「草津が私の根っこ」と語る井内さん(草津市)

場は京阪神など、境遇の異なる市民が「融合」していかないように思う。経済誌の「住みよきランキング」では昨年まで2年連続で西日本1位ですが、病床数や出生数、公園面積など、あくまで指標上の話です。

町内会のつきあいや決まりは、うつつしもある。でも、子どもがいたら、この誰かくらい知っている方が子どもが安全です。お年寄りでも、最近見ないと思った管理人に聞いてもらえばいい。安全で安心して暮らすため、うつつしこの向う側にある、つながりが大切なんです。

草津も将来、人口が減り、高齢化していく訳だから、一層、そうした地域づくりが重要。そのために行政も「ムラ作り」の有効性を訴え、共感してくれる住民を増やす施策が必要だと思えます。

全国では既に過疎高齢化が進み、先行モデルに事欠かないのだから、草津も今から20、30年後の指標を持てば、手が打てる。そういう意味でも恵まれているんです。事業面でも本場に役立つものをじっくり開発するには、大都会より、落ち着いた草津が適当だと思っています。だから、地域や仕事上の小さなつながりを大事にする機運を高めてほしいと思います。

市の人口は1月末現在で13万452人と、1954年の市制施行時(約3万2000人)の4倍超。JR草津、南草津両駅周辺が顕著で、市全体の共同住宅申請は99~2015年に512件あった。市は25年頃まで増えると思われているが、市内の町内会加入率は14年度で8割台に低下している。また、両駅周辺の昨年の犯罪認知件数は計1226件。自転車盗などが目立ち、草津管内(草津、栗東両市)の6割近くを占める。

草津市長選の告示が14日(投票日は21日)に迫った。人口増が続く「県下第2の都市」で、市政のかじをどう取るべきか。各分野で活動する市民らに、日頃の思いと将来への提言を聞いた。

草津市長選 白熱の討論 予定者2人

草津市長選の立候補予定者2人による公開討論会が11日、同市の草津アミカホールで開かれ、市民ら約150人が政策に耳を傾けた。写真。



光振興で収入を増やす」と、白井氏は企業誘致に加え、子どもや流入人口を増やして購買力を高めると強調。子育て支援で、橋川氏は「保育所は定員増で今春、待機がゼロになる。支援拠点や相談センターを設ける」と述べた。

持費を考えると3000人規模でも県内最大級」と、白井氏が「5000人規模で集客を増やせば賄える」と主張が分かれた。(藤井浩)

樹木倒れ家屋壊す 根元空洞昨年県に対応要望



11日午前4時30分頃、大津市国分の農業丸山昇さん(66)方で、裏手を流れる三田川(幅約2.5m)の対岸にあった樹木(直径約80cm、高さ約15m)が川を越えて家屋に倒れ込み、母屋の屋根の一部やブロック塀などを壊した。丸山さん夫婦は就寝中だったが、けがはなかった。

丸山さんによると、5年ほど前から樹木の根元が空洞化し、自宅の方に傾いてきたため、昨年9月に川を管理する県大津土木事務所に対応を要望。県が現場を確認していた。

民家の屋根などを壊した倒木。倒木で壊れた家の屋根(11日午後1時22分 大津市)

車いすの夫と妻 はねられ死傷

11日午前11時30分頃、米原市箕浦の市道で、車いすで横断中の同市飯、無職西村昌弘さん(80)と、車いすを押していた妻の幹子さん(74)が、同市朝妻築摩の会社員溝口裕章さん(42)運転の乗用車にはねられた。西村さん夫婦は病院に運ばれたが、幹子さんが頭などを打って死亡。昌弘さんは軽傷を負った。

現場は丁字路で、信号や横断歩道がない場所。米原署が原因を調べている。

滋賀

大津支局 彦根支局 草津通信部 長浜通信部 近江八幡通信部 甲賀通信部 高島通信部

広告のご用は 読売旅行は 折込広告は

家族葬 24時間体制 10万円から

お金の増え方 老後 年金が 今にゆ

水道や電気、ガスはなく、自給自足が原則。住民の主な仕事は、炭焼きのほか、茶やシイタケ栽培などで、山でワ